

単位認定について

■ 単位認定のステップ

留学前

留学報告書を留学情報ステーションでチェック



卒業までの履修・単位修得予定などを考える



必要に応じて、教務課で卒業までの履修・単位修得予定などを相談

留学中

シラバスや、授業内容がわかる資料を保管



現地で発行された成績証明書を発行し、保管



帰国の際、忘れずに持って日本に帰ってくる！

単位認定について

■ 単位認定のステップ

帰国後

海外留学単位認定願・講義内容の作成

「シラバス検索」で留学先大学の科目内容と創価大学の科目内容が似ている科目を探す



専門科目の場合は学部の事前相談担当教員
共通科目の場合は教務課へ相談する



海外留学単位認定願・講義内容を作成する

POINT

授業時間数の考え方

- ・週1回開講される科目は**1350分**以上
- ・週2回開講される科目は**2700分**以上

【例】

[GGCE142]

地域研究A（2単位）⇒1350分以上

[ECON344]

国際経済論（4単位）⇒2700分以上

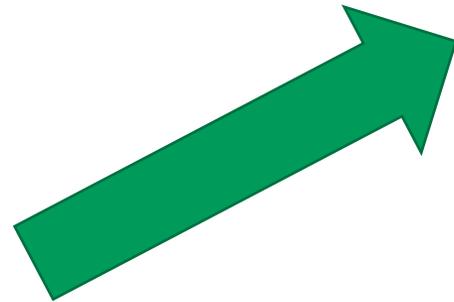
履修要項「単位認定制度について」より

単位認定について

■ 単位認定のステップ

帰国後

- ・海外留学単位認定願
- ・講義内容
- ・成績証明書（**原本**）
- ・留学先の授業のシラバス



教務課に提出



所定の会議で審議



創価大学の単位として反映

単位の反映は学期毎になるので、注意！！

単位認定について

単位認定まとめ

・会議での審議では**授業の内容やレベル**が創価大学で開講されているものと一致しているかを確認しています。

⇒ **専門科目での単位認定は難しい傾向です。**

・交換留学する直前のセメスターに卒業に必要な単位をできる限り履修、修得しておくこと。

⇒ **特に専門科目を中心に履修、修得しておく**とよい。

